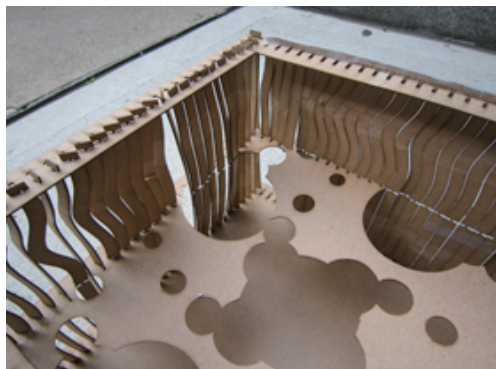


Digital Tea House 展

展覧会

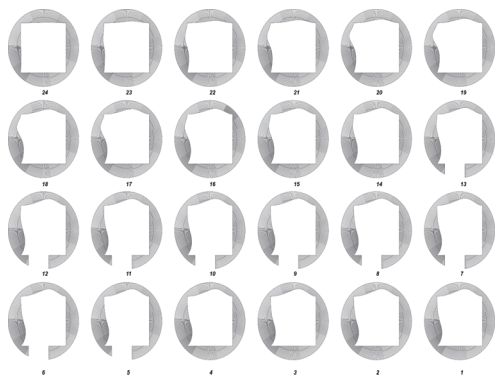
コロンビア大学建築学部／東京大学建築学科 合同サマワークショップ2010 特別展
コンピューテーショナルデザインと
デジタルファブリケーションの実験と実践



Team GSAPP



ventilation



washboard

内容

2010年8月、コロンビア大学建築学部(GSAPP)と東京大学大学院工学系研究科建築学専攻(建築学科:UTDA)隈研吾研究室を中心に、合同ワークショップが開催されます。このワークショップには、コロンビア大学から8名、東京大学から16名の大学院生が参加し3週間弱にわたって最新のソフトウェアを用いたコンピューテーショナルデザインと、そのデザイン及び施工特性を生かしたデジタルファブリケーションの演習を行ないます。共同でコンピューテーショナル・デザインの特性を吟味しながら、テーマである「茶室」を再解釈し、設計及び実際に仮設の茶室の製作に取り組むものです。伝統的な茶室の理解に加え、本来前衛的であったはずの茶室を現代の文化的、技術的文脈の中でどのように解釈するか。仮設構築物という条件下でいかに構成するか。デジタルファブリケーションならではの構造やデザインの面白さをいかに茶室という機能に織り込むか—最新のソフトウェアを駆使したデザインが披露されます。講師陣は、各大学から世界をリードする専門家が複数参加して学生を指導し、ともに製作、展示までを行ないます。

本展は、このワークショップで制作した各チームの「Digital Tea House」三棟を特別に一般公開するものです。3チームには同じ量の素材と予算、かつ同じソフトウェアを使うことが条件とされています。にもかかわらず、形も構造も全く異なる、デジタルファブリケーションならではの特性が随所に見られるユニークな設計、制作が現在進行中です。世界から10年遅れているといわれる日本のコンピューテーショナルデザインを活性化する重要なイベントとして、また既成のデザインや施工方法、素材の特性などに対する常識を越えた実験と実践に触れる好機として、ご期待ください。

■出展者

- GSAPP: コロンビア大学学生チーム
- UTDA1: 東京大学建築学科「チーム洗濯板」
- UTDA2: 東京大学建築学科「チーム換気扇」

開催概要

名称: Digital Tea House展
 会期: 2010年10月21日(木)～10月25日(火) ※水曜日(祝日を除く) 休館
 時間: 10:30～19:00
 会場: リビングデザインセンターOZONE (7F リビングデザインギャラリー)
 〒163-1062 東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー
 主催: コロンビア大学建築学部(GSAPP)、東京大学建築学科(UTDA)
 協力: noiz architects、リビングデザインセンターOZONE
 読者問い合わせ先: 03-5322-6500 <http://www.ozone.co.jp/>

PRESS CONTACT

(株)リビング・デザインセンター
 広報担当: 木村・石川
 Tel: 03-5322-6504
 Fax: 03-5322-6635

LIVING DESIGN CENTER
OZONE

